各務原市・川島町　合併協定調印式　記録

●日時　　平成16年２月25日（水）　　午前10時00分～10時31分

●会場　　中央プラザホテル　３階芙蓉の間

●次第

１．開式の辞

２．経過報告

３．協定書調印

４．立会人署名

５．主催者あいさつ

６．来賓祝辞

７．閉式の辞

●出席者

＜主催者＞

各務原市長	森　　真
川島町長	野田　敏雄

＜立会人＞

合併協議会委員	松田　之利
同	広瀬　利和
同	横山隆一郎
同	白木　　博
同	尾関　益男
同	野田　　功
同	長谷川匡一
同	星野　鉄夫
同	武藤　孝子
同	小島　　武
同	苅谷　彰三
同	村井　宏行
同	田中　露美
同	小森利八郎
同	横山　勝利

＜来賓＞

岐阜県議会議員　　松岡　憲郎

岐阜県議会議員　　足立　勝利

岐阜県議会議員　　伊藤　正博

＜招待者＞

各務原市議会議員

川島町議会議員

各務原市自治会連合会長

川島町町内会連合会長

＜その他（幹事会幹事等）＞

各務原市総務部長　　五島　仁光

川島町総務課長　　野田　凱夫

＜合併協議会事務局職員＞

事務局長　　五藤　勲

事務局次長　　藤ノ木大祐　　松岡秀人　　林　昭光

事務局長補佐　　村井清孝

総務係長　　稲川和宏

計画調整係長　　前田直宏

事務局員　　稲垣嘉朗　　江田裕之　　前島宏和　　尾関　淳

●会議録

午前10時00分　開会

【司会（各務原市企画財政部長　五藤　勲）】

皆様、おはようございます。

年度末にさしかかり、大変お忙しいところご来賓の方々はじめ、立会人の合併協議会委員の皆様、そして多数の招待者の皆様にお集まりいただき誠にありがとうございます。

私、本日の式典の司会を努めさせていただきます、各務原市企画財政部長の五藤でございます。合併協議会の事務局長も努めさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今より各務原市と川島町の合併協定調印式を執り行いたいと存じます。

調印に先立ちまして、私から合併協定調印に至る経緯をご報告させていただきます。お手元の資料をご覧になりながら、お聴きください。

一昨年でございますが、平成14年11月5日、川島町議会において各務原市への合併協議の申し入れが決定されましたところから、この縁組はスタートした次第でございます。

11月13日には、川島町から各務原市に対して合併協議の申し入れがあり、11月25日にこの申し入れは各務原市議会において合意されました。

そして12月２日には、各務原市が正式に合併協議の申し入れを受諾し、翌12月３日には、各務原市と川島町とで「合併協議会準備会」が設置されたところでございます。

そして翌平成15年１月27日には任意の合併協議会を立ち上げ、３月議会において「木曽川文化圏市町合併協議会」の設置がそれぞれの議会で可決され、４月１日には合併協議会が設置されまして、第１回の合併協議会が４月10日に開催された次第でございます。

途中、岐南町さんの参加・離脱等がございまして、この協議会も、スタート時点では、全くの順風満帆であったわけではございません。

しかし、各務原市と川島町との絆は強く、第１回の協議会の冒頭に決定されました「合併憲章」にございますとおり“対等な立場・互譲の精神”を貫き、今日に至ったということでございます。

今日まで協議会は計１３回、小委員会を５回、幹事会１５回が開催されております。

また、ここには掲載されておりませんが、専門部会、分科会に至っては合計 506回が開催されておりまして、２千数百に及ぶ事務事業の協議が重ねられました。

そして、このほど、すべての重要項目について合意に至り、ここに合併協定の調印式を挙行する運びとなりました。

なお、新市建設計画につきましては、今月18日付けで、岐阜県知事より「異議なし」との通知がございまして、正式協議が調っていることを、この場をお借りしてご報告申し上げます。

合併協議に直接参加されました本日の立会人でございます、合併協議会委員の皆様のご労苦は言うに及ばず、周囲からこの協議を支えて下さいました、ここにお集まりの皆様方、あるいは県議会議員の皆様、また両市町の議会議員の方々、そして住民の代表者でございます自治会

連合会長、町内会連合会長の皆様方に、心から感謝申し上げまして経過報告といたしたいと存じます。

それではただ今より調印を執り行います。

これより森各務原市長、野田川島町長によりまして、合併協定書に署名・押印が行われます。

〔両市町長、署名・押印〕

それでは引き続き、立会人といたしまして、合併協議会の委員の皆様のご署名をお願いいたします。

〔立会人、署名〕

ありがとうございました。合併協定書への調印が、ただ今完了いたしました。

それでは市長さん、町長さん、協定書の交換をお願いいたします。

〔両市町長、協定書を交換・握手〕

ありがとうございました。めでたく調印が完了いたしましたところで、本日の主催者側からまず、各務原市長森真がご挨拶を申し上げます。

【各務原市長　森　真】

おはようございます。今日は先ほどからお集まりを頂きまして、めでたく調印が滞り無く完了致しました。思えば、法定合併協議会が設置されてから１年、川島町長さんの言葉を拝借しますと、お互い信頼と互譲の精神で順調に合併協議が進み、今日まで来れたことを大変うれしく存じます。また、今日ご参列の合併協議会委員の皆さん、あるいは両町市議会の皆さん、連合自治会、あるいは町内会連合会の皆さん等々、大変お世話になりまして、ご協力に厚く感謝申し上げる次第でございます。

川島町さんと各務原市とは、考えて見れば極めて自然な合併でございます。地縁、血縁、歴史的な由縁、文化的なご縁等々ございまして、スムーズに合併に軟着陸したと私は感無量でございます。同時に私どもは両町、市民の未来に対し責任を持っているわけでございまして、すでに新市建設計画が出来あがっておりますが、今年の11月１日から、いいまちづくりのためのスタートを切りたいと意を強くするところでございます。

皆さんには大変お世話になりまして、重ねて御礼申し上げる次第でございます。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございました。続きまして、野田川島町長がご挨拶申し上げます。

【川島町長　野田敏雄】

皆さん、こんにちは。今日は席がここだけ一段高こうなっておりまして、おろおろしております。一言で言えば、本当にやっとここまで来れたかな、という思いでございます。その間、両市町を代表する合併協議会委員の皆様方はもとより、市民を代表する市議会議員の皆さん、川島町民を代表する町議会議員の皆さん、そして町内会等を支えて下さっております町内会、自治会等の皆さんの後ろ盾があったからこそ、ここまで来れたと思っております。

合併協議も、入り口の段階では少しつまずきもいたしましたが、出口は堂々と出ることがで

きます。協議会の中で、困ったときに第三者の立場に立っていろいろ発言して下さいました、またお知恵も出していただきました、岐阜大学の松田先生、そして岐阜県の広瀬振興局長さん、本当にありがとうございました。

舞台は来月の市と町の議会へ移るわけでございますけれども、私は適切なご決定が頂けるものと１００％確信をいたしております。人口の比でいきますと、１３．５分の１というような地域でございますが、されど１万人。新市の中では、その地域性を発揮するとともに、きちっと、役割を果たしていけますように、努力する所存です。

これから詳細な事務の調整もありますけれども、残すところ８ヶ月と５日間、最後までいろいろ皆様方にご指導、ご鞭撻を賜りまして、本当に良かったなと言えるように祈る思いでございます。本当に今日は感謝感激をいたしております。皆さんどうもありがとうございました。

【司会】

ありがとうございました。続きまして、ご来賓のご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

本日、ご来賓として、ご出席をいただいております、各務原市選出の県議会議員の皆様方をご紹介申しあげます。松岡憲郎様でございます。同じく足立勝利様でございます。同じく伊藤正博様でございます。それでは、お三方を代表して、松岡憲郎様からご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

【松岡憲郎・岐阜県議会議員】

只今、司会者からご紹介いただきましたが、今日羽島郡の選出の加藤一夫副議長がお邪魔をし、親しくご挨拶されるのが本意でございますが、公務のため出席できないということで、地元の県会議員３名を代表して一言お祝い申し上げます。

まずもって、川島町、各務原市の合併協定調印式が厳粛の中に行われましたことを、心からお祝い申し上げます。おめでとうございました。今、市長さん、町長さんからご挨拶がありましたが、本当に１年数ヶ月の短期間でこのように立派に合併のゴールインが出来たということは、地縁はもちろんですけどもいろいろな産業の交流やら、また文化の交流、そうした縁があって、すばらしい合併が出来たと思います。

私ども県議会としては、やはり合併していただいたあと、皆さん方が本当に１日でも早く各務原市の地勢になじんでもらう、そのような行政もしっかりしていかなきゃあならんと思っております。県に対しては、今日は振興局長さんにもおいでいただいておりますが、できるだけの力を発揮して皆さん方のご期待に添うべく頑張って参りたいと思います。どうか川島町の皆さん方、本当にご苦労様でございました。

また市会議員の先生方、いろいろ問題があったかと思いますけれども、このようにすばらしい合併調印式が出来ましたことを重ね重ねお祝い申し上げ、ますます各務原市のご発展と皆様方のご健勝を申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。本当に今日はおめでとうございました。

【司会】

ありがとうございました。

続きまして、岐阜県を代表いたしまして本日の立会人でもございます、岐阜地域振興局長の広瀬利和様、よろしくお願い申し上げます。

【広瀬利和・岐阜地域振興局長】

大変恐縮でございますけれども、一言お祝いの言葉を述べたいと思います。先ほどからお話があったとおり、大変、和気あいあいといいますか互譲の精神で、お互いに信頼し合って合併協議会が進められておりました。私も委員の一人として参加させて頂きまして、新聞を見ますといろんな合併協議会が開催されておりますけれども、大変なところもございます。中には喧喧諤諤と議論を戦わすような合併協議会もございます。でも、この合併協議会に参りますと、なんとなくホッといたしまして、ボーっとしてると２時間ぐらいたってしまいまして、会長の各務原市長さんから、局長、あんた何かいつも黙って座っておったなあ、何か言ったらどうだと、いうようなことを言われました。スムーズに協議が進められておりますので発言することもなかったのでございます。

私ども岐阜地域では、新市が昨年は山県市、瑞穂市、それから今年の２月には本巣市が出来ました。そして１１月に新生各務原市が出来るということでございます。川島町の河川環境楽園に「アクア・トト」という世界淡水魚園、水族館が７月14日にオープンいたします。大観覧車も一緒に造られております。あの地区は県営公園となっておりまして、年間３百数十万の人が訪れ、にぎわっております。新市の建設計画を見ましても、まさに元気な大交流都市、公園都市となっています。

先ほど松岡先生もおっしゃいましたように、県としましては、新市建設計画に載っています諸事業につきまして重点実施、優先採択しようという事になっております。私どもも一緒になって新しい市の建設に向かっていろいろ努力していかなくてはいけないと思っております。皆様の益々のご健勝を祈念いたしましてご挨拶といたします。ご本当におめでとうございました。

【司会】

ありがとうございました。

なお、本日ご来賓として、ご出席をお願いしておりました岐阜県議会副議長加藤一夫様におかれましては、他の公務のためご欠席でございますが祝電を頂戴致しております。どうも、ありがとうございました。

本日はご多忙のところ、各務原市と川島町の新しい出発を約束する、この式典にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

これをもちまして、閉式とさせていただきます。ありがとうございました。

午前10時31分　閉会